記入例

申請を行う管轄消防署を「〇」部分に記入します。（ 東　又は　西 ）

様式第１号（第２条関係）

該当区分を選択する。

危険物 仮 貯 蔵 / ~~仮 取 扱~~ 承認申請書

申請日を記入する。

〇〇年〇〇月〇〇日

（宛先） 舞鶴市〇消防署長

申 請 者
住 所 舞鶴市〇〇町〇丁目〇番〇号（電話 000-000-0000）
氏 名 〇〇工場株式会社 代表取締役 消防 太郎

危険物の所有者、管理者又は占有者	住 所	舞鶴市〇〇町〇丁目〇番〇号 電話 000（000）000
	氏 名	〇〇工場株式会社 代表取締役 消防 太郎
仮貯蔵・仮取扱いの場所	所在地・名称	舞鶴市〇〇町〇丁目〇番〇号 〇〇工場株式会社 東側空地
危険物の類、品名及び最大数量	第４類第２石油類（軽油） 2,000 リットル	指定数量の倍数 2 倍
仮貯蔵・仮取扱いの方法	200 リットルの金属製容器（ドラム缶）を貯蔵し、手動ポンプを用いてドラム缶から作業機械への給油を行う。安全対策は別紙のとおり。	
仮貯蔵・仮取扱いの期間	〇〇年〇〇月〇〇日 から 〇〇年〇〇月〇〇日まで 10 日間	
管理の状況	敷地の出入り管理を徹底し、いたずら・盗難を防止する。作業前後に点検を行い、その結果を記録する。 第五種消火設備 10 型粉末消火器 ３本設置する。	
現場管理責任者	住 所	舞鶴市〇〇町〇丁目〇番〇号 緊急連絡先 000（000）000
	氏 名	危険物 次郎 【危険物取扱者免状：有（種類：乙種第４類 ）・無】
仮貯蔵・仮取扱いの理由及び期間経過後の処理	臨時に作業機械へ燃料補給を行う必要が生じたため。注入完了後、流出等ないことを確認し完了する。	
その他必要事項	当該取扱行為は、今回に限り行うもの。	

※ 受付欄	※ 経過欄	※ 手数料欄
	承認年月日 承認番号	

備考　１　法人にあっては、その名称、代表者氏名及び主たる事務所の所在地を記入すること。
２　案内図、配置図、平面図、構造図その他関係書類を添付すること。
３　※印の欄は、記入しないこと。

申請部数：２部
添付書類：**付近見取り図、平面図、構造図、作業内容・安全対策計画書等**
申請時期：仮貯蔵及び仮取扱を開始する５日前まで
提 出 先：管轄の消防署
手 数 料：**５，４００円**

仮貯蔵又は仮取扱い（以下「仮貯蔵等」という。）に関する権原を有する者の住所及び氏名を記入します。
（法人にあっては、その名称、代表者氏名、事務所の所在地及び電話番号）

仮貯蔵等を行う危険物の所有者、管理者又は占有者について記入する。

仮貯蔵等を行う場所の所在地及び名称を記入する。

類、品名、仮貯蔵等をする最大数量及び指定数量の倍数を記入する。

仮貯蔵等の方法及び静電気対策や流出防止措置等の安全対策を具体的に記入する。

期間が 10 日以内になるよう年月日及び期間を記入する。

標識等の掲示、バリケードの設置、消火設備や警報設備の設置等、危険物の管理方法や監視・消火体制を具体的に記入する。

現場管理責任者の住所・氏名・緊急連絡先を記入し、危険物取扱者免状の有無に〇印を付け、有の場合は、「甲種」または「乙種第〇類」と記入する。
また、危険物取扱者免状の写し、氏名及び資格の種類等を記載した書類を添付する。

仮貯蔵等を行う理由及び期間経過後の処理の方法を記入する。

その他、特記事項があれば記入する。